

こんにちは 在宅介護支援センター です・・・

◆来所・有線電話相談

月曜日～金曜日 8:30～17:00

有線 8200

◆電話相談（24時間対応）

電話 62-8200

尚、お急ぎでない方は、出来るだけ平日の昼間をお願いします。

福祉サービスとポイント

先月に続いて、高齢者介護の事例に添った福祉サービスとその利用のポイントについて紹介します。今回は、遠距離介護（別居介護）についてです。

88歳の元気な父と、84歳の軽度痴呆の母との2人暮らし・・・
年に数回しか顔を見ることができない。まだまだ2人で暮らせると言っているが、火の元や、安否が心配・・・何かよい知恵はないかしら・・・？

高額な商品を購入するなど・・・

お金の管理が心配

- * 親の財産を把握しておく
(本人の同意を得て)
- * 請求書やはがきを時々チェック
- * 銀行の貸し金庫活用
- * 地域福祉権利擁護事業の活用
- * 成年後見制度

高齢なので、緊急時の対応が心配

- * 緊急通報装置
- * ファックス・テレビ電話
- * 見守りほっとライン
(電気ポット使用で安否確認)
- * ガス監視装置
- * 毎日電話サービス ETC・・・

介護費用外の費用削減も考慮

- * 交通費の節約
 - ・ 介護帰省バス(1年有効)で最大37%割引
 - ・ 鉄道・高速バスの往復割引や、回数券の活用
(介護保険の手続きは、段取りをつけて効率よく行う。)
- * 電話料金割引も利用
 - ・ 各電話会社にお問い合わせ・・・
(指定した2つの通話先が割引に)

火の用心に注意しすぎはありません

- * ストープ対策
石油でなく、温風方式のストープなどに替える。
- * コンロ対策
IHなどの安全な用具に替える。
- * 電気製品対策
コード断線・蛸足配線・家具や、ゴミの下などに埋もれた、配線などはないかを点検。
- * その他
ろうそく・蚊取り線香などの直火のものは避ける

<チェックポイント>

上記の項目について、早いうちからチェックしておくことは、高齢者のみの安全な生活の確保の上で、必要なことではないでしょうか？（詳しくは、支援センターにお問い合わせください。）

遠距離介護の場合、観察の視点が、断片的になりがちで問題点が見えにくいものです。ご近所の方に帰省のたびに声かけをし、よい関係を築いておくことで何か気がかりなことがあれば、連絡をいただけるようになるとありがたいですね。

介護 お助けグッズ (町内の、介護者さんから教えていただきました。)

重湯を食べている場合、非常用に「諏訪特産の氷もち」を買い置きし、ご飯茶碗に2個ぐらい入れ、熱湯を加えてよくかき混ぜると即席の重湯になります。お試しください